



隼新八郎（南町奉行所内与力）— 郁江（妻 神谷伊十郎の娘）、おとり（女中）

神谷伊十郎（新御番組頭 郁江の父）— 左尾（妻 能勢市兵衛の妹）

鹿之助（息子 同心見習い）— 雪江（妻）、波平（若党）

能勢市兵衛頼能（大番組頭）— 藤代（妻）、お志賀の方（娘 大奥老女）

根岸肥前守鎮衛（南町奉行 根岸家養子 安生家の三男）

— 妻（桑原平兵衛盛利の娘）

貞春院（叔母 向島住）

お鯉（隼家の元女中→肥前守の女中）、仙之助（兄 淀橋）

高木良右衛門（用人）、お千加（娘）— 刀剣商又右衛門（夫 石町）

宮下覚右衛門（用人）

安生太左衛門定洪（肥前守の父）、直元（長男）

大竹金吾（用部屋手付同心）、熊五郎（岡っ引）

大久保源太（定町廻り同心）、進介（若党）

勘兵衛（湯島の元岡っ引）、熊吉（下ッ引）、仙太（下ッ引）

初（勘兵衛の娘）

吉太郎（勘兵衛の息子 湯島の一膳飯屋）— お芳（女房）

お久美（娘）、勘太郎（息子）

藤助（駒込の岡っ引）、お里（藤助の妹 三河屋の内儀）、丑松（子分）

進藤織部正（旗本）— 吉江（妻 今井喜兵衛の娘）

お三津（妾 茶問屋駿河屋次郎衛門の娘）、正一郎（息子）

おもと（奥仕え 三津の叔母 駿河屋次郎衛門の姉）

鈴木孫兵衛（用人）、千代（女中）、佐吉（老僕）

秋山助三郎（三味線弾き）

松平上総介斉政、新之丞（息子）

永田屋光兵衛、政太郎（息子）、おえい（捨て子）

善兵衛（小石川の百姓）— お熊（女房）

御守殿おたき

松平周防守（石州浜田藩主）— 芳江（亡き妻）

珠子（芳江の娘 亀井豊前守の妻）、吉姫（珠子の娘）

沢の井（老女 佐野三郎兵衛の妹）

藤世（側妾）、お喜久（藤世の侍女）、鶴之助（お喜久の息子）

岡野源太左衛門直道（重役 藤代の父）

佐野三郎兵衛（重役）、兵馬（息子）

岡田正左衛門（中目黒の名主）

作兵衛（白金の地主）

古沢半兵衛（御家人）

京極<sup>いきのかみ</sup>耆岐守（多度津藩主）

塩津<sup>しおづ</sup>宗兵衛（用人）、宗之助（息子）

お勝（妾）、おたま（娘）、お千香<sup>ちか</sup>（娘）

神村<sup>かみむら</sup>大助（江戸用人）、小倉<sup>じろうざえもん</sup>治郎左衛門（江戸用人）

長浜<sup>にえもん</sup>仁右衛門（国許用心）、小沢<sup>ろくろうざえもん</sup>六郎左衛門（国許用心）

吉田幸之介（多度津の家来）

中村<sup>ひこぞう</sup>彦三（多度津堀江村の名主）、奥田吉右衛門（多度津白方村名主）

辰巳<sup>たつみ</sup>屋平次郎（森田町の料理屋）、お加代（森田町の娘）

松之助（料理屋吉松） — お加津<sup>かつ</sup>（女房 平次郎前妻の姪）

吉山<sup>そうてん</sup>宗典（佐久間町の医者）

本田<sup>なかつかさたいふただあき</sup>中 務大輔忠頭（三河岡崎藩主）

井上九兵衛（用人）

中根隼人（筆頭家老）

服部平兵衛（江戸家老）、玄太郎（甥）

本田<sup>くらのすけ</sup>内蔵助（本所の旗本）

土佐<sup>さどのかみ</sup>佐渡守（本所の旗本）、青木信兵衛、長山九朗右衛門

江口<sup>ひょうご</sup>兵吾（元本田家の家来） — おふゆ（妻）、お千代（娘）

亀蔵（おふゆの父）

お松（情婦 吉原越前屋の元女郎）

山川<sup>またえもん</sup>又右衛門（橋場町の町役人）

荒<sup>あらじろう</sup>次郎（盗賊鬼神組の首領 お松の情夫）

紀伊中納言<sup>はるとみ</sup>治宝卿（十代藩主） — 種姫（妻 聴子）

梅沢十助（側用人）

千とせ（御簾中様付き御年寄）、民野<sup>たみの</sup>（御簾中様付き御年寄）

御小姓：音弥、志津香、芳江、糸路、君のぶ

おむら（側室）

藤尾（御年寄 おむらの姉）、おとよ（召使）、弥生（御小姓）

魚勝（魚屋）、おきみ（娘 千とせの元召使）